

第5学年 家庭科学習指導案

場 所 5年1組教室

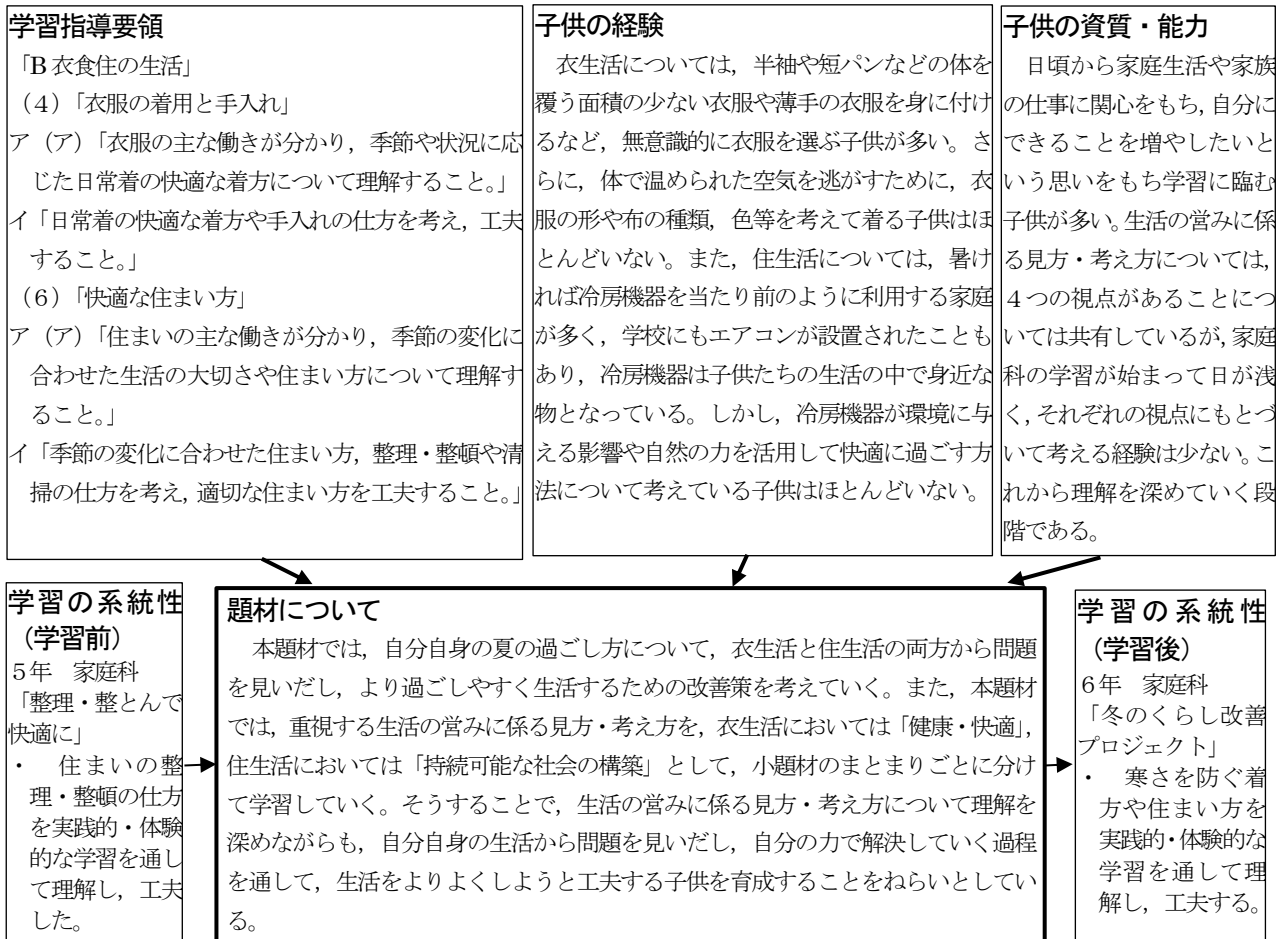
児 童 男17名 女16名 計33名

指 導 者 星 かすみ

1 題材名

夏のくらし改善プロジェクト

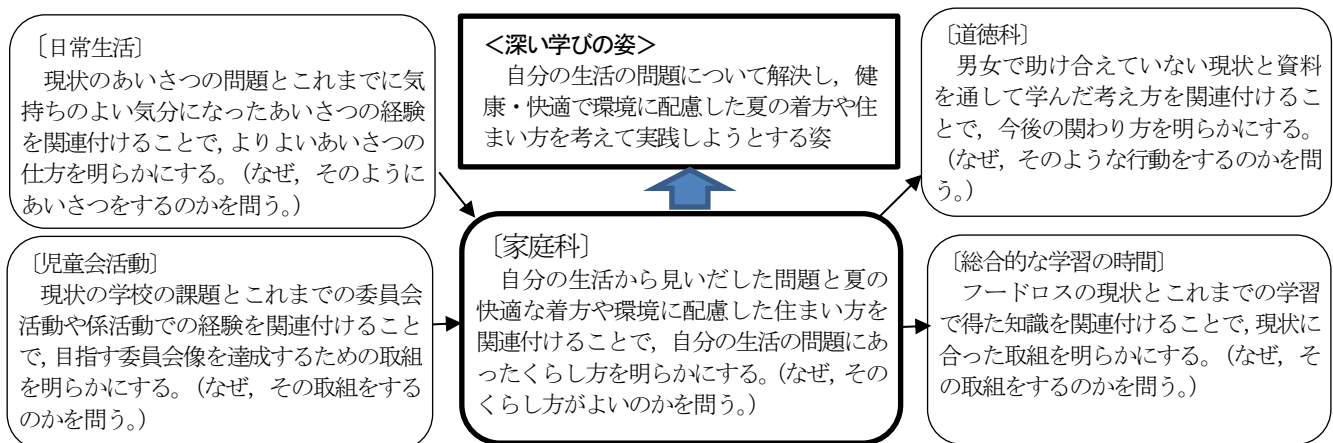
2 題材の指導構想



3 指導にあたって

そこで、生活をよりよくしようと工夫する子供を育むために、その実現に向けて、以下のような手立てをとる。

視点1 教科等間の『考えるための技法』の活用・発揮



視点2 深い学びの実現に向かう単元構成

子供が、日常生活の中から問題を見いだして解決する活動を通して、生活をよりよくしようと工夫するために、次の手立てを講じる。

- ・ 学習の最後には子供自身が、自分の生活の問題を解決し、夏の暮らしについて自ら工夫することができるように、重視する生活の営みに係る見方・考え方を小題材ごとに「健康・快適」と「持続可能な社会の構築」とし、題材を通してこの見方・考え方にもとづいて考える場面を設定する。
- ・ 盛岡の夏の暮らしに目を向け、自分の生活から問題を見いだすことができるように、社会科の「自然条件と人々の暮らし」の学習との関連を図り、他の地域と比較する活動を位置付ける。さらに、環境に配慮した生活の必要性を感じられるように、冷房機器を使用した際の電気量や環境への影響について示した資料を提示する。
- ・ 子供自身が問題を見いだして解決できるように、環境に配慮した夏の住まい方を探るために学習したいことを子供たちに問い、子供と共に学習計画を立てる。
- ・ 子供が自身の学びや成長を自覚したり、学んだことを日常生活に活かしたりすることができるように、題材の最初と最後に夏の住まい方について、自分の考えをまとめる活動を位置付け、比較を促す。

視点3 単位時間の考える活動の充実

- ・ 子供一人一人が夏の自分の家庭生活を改善したいという思いをもつことができるよう、前時までの振り返りをもとに、子供の思いや願いを取り上げ、全体で共有して課題を設定する。
- ・ 子供が自分の力で家庭生活の問題を解決することができるよう、実践的・体験的な活動の際の子供のつぶやきを取り上げ、必要感のある考える場面を設定する。
- ・ 子供が家庭生活の問題を自分の力で解決することができたという自覚ができるよう、振り返りの場面において、できるようになったことやその理由の視点で振り返りを促す。

4 題材の指導計画

(1) 目標

- ・ 衣服や住まいの主な働きが分かり、夏における日常着の快適な着方、季節の変化に合わせた生活の大切さや夏の住まい方、環境に配慮した物（冷房機器等）の使い方について理解する。 【知識及び技能】
- ・ 夏における日常着の快適な着方や住まい方及び環境に配慮した物（冷房機器等）の使い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・ 家族の一員として、生活をよりよくしようと、夏における日常着の快適な着方や住まい方及び環境に配慮した物（冷房機器等）の使い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。 【学びに向かう力、人間性等】

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 衣服の主な働きが分かり、夏における日常着の快適な着方について理解している。 ・ 住まいの主な働きが分かり、季節の変化に合わせた生活の大切さや夏の住まい方について理解している。 ・ 環境に配慮した物（冷房機器等）の使い方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏における日常着の快適な着方や住まい方及び環境に配慮した物（冷房機器等）の使い方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の一員として、生活をよりよくしようと、夏における日常着の快適な着方や住まい方及び環境に配慮した物（冷房機器等）の使い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

(3) 指導計画 (10時間)

小 釋	時 間	学習活動	指導の手立て	考えるための技法	主な評価規準・評価方法		
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
夏 の家庭生活を振り返ろう	1	<ul style="list-style-type: none"> 社会で学習した地域と比較し、盛岡の自然条件に目を向け、夏のくらしの問題を見いだす。 問題を解決するためにできそうなことを考え、題材の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 『夏の家庭生活を改善しよう。』 ①夏の着方を改善しよう。 ②夏の住まい方を改善しよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 盛岡の夏は暑く過ごしにくいことに気付くことができるよう、昨年他の地域と盛岡の最高気温を示す。 着方と住まい方について考えていくという見通しをもつことができるよう、子供の意見を着方と住まい方に分類しながら板書する。 	比較する 関連付ける	<ul style="list-style-type: none"> これまでの生活経験をもとに、夏における日常着の快適な着方や住まい方について自分の生活から問題を見いだしている。 【発言、ノート】 	<ul style="list-style-type: none"> 夏における日常着の快適な着方や住まい方及び環境に配慮した物(冷房機器等)の使い方について、課題の解決に向けて自ら進んで取り組もうとしている。 【発言、観察】 夏における日常着の快適な着方や住まい方及び環境に配慮した物(冷房機器等)の使い方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 【発言、観察】 夏における日常着の快適な着方や住まい方及び環境に配慮した物(冷房機器等)の使い方について工夫し、実践しようとしている。 【発言、観察、カード】 	
	2	<ul style="list-style-type: none"> 着方についての自分の問題点を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の課題を見いだすことができるよう、前時に出された快適具合をもとに考えるよう促す。 	関連付ける	<ul style="list-style-type: none"> これまでの生活経験をもとに、夏における日常着の快適な着方について具体的な問題を見いだしている。 【発言、ノート】 		
	3・4	<ul style="list-style-type: none"> 快適な着方について調べ活動を行う。 調べたことを検証する。 通気性実験(縫い目の粗さ) 吸水性実験・服の形 衣服の色(暖色と寒色) 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が課題解決の糸口を見つけられるよう、自分の問題に沿って調べるよう促す。 衣服の働きについて理解できるように、実験結果を比較するよう促す。 	関連付ける 比較する	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の主な働きが分かり、夏における日常着の快適な着方について理解している。 【発言、ノート】 		
	5	<ul style="list-style-type: none"> 快適な着方についてまとめ、解決策を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の問題点に合った解決策を考えられるよう、自分の生活の問題とこれまでの学習とのつながりが見える掲示やカードの工夫をする。 	関連付ける	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習をもとに、自分の生活の問題に合った解決策を考え、工夫している。 【発言、ノート】 		
	課外	<ul style="list-style-type: none"> 計画を実践する。 					
夏 の住まい方を改善しよう	6	<ul style="list-style-type: none"> 冷房機器が与える影響について考える。 住まい方についての自分の家の問題点を見いだす。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が課題解決の糸口を見つけられるよう、自分の問題に沿って調べるよう促す。 	関連付ける	<ul style="list-style-type: none"> これまでの生活経験と資料を関連付け、自分の生活から夏の環境に配慮した冷房機器等の使い方について課題を設定している。 【発言、ノート】 		
	7・8	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した住まい方について調べ活動を行う。 調べたことを検証する。 通風(窓の開け方) 日光を遮る(よしず、すだれ) 音(風鈴) 気温を下げる(打ち水) 	<ul style="list-style-type: none"> 住まい方について理解できるように、実験結果を比較するよう促す。 自分の問題点に合った解決策を考えられるよう、自分の生活の問題とこれまでの学習とのつながりが見える掲示やカードの工夫をする。 	比較する 関連付ける	<ul style="list-style-type: none"> 住まいの主な働きが分かり、季節の変化に合わせた生活の大切さや夏の住まい方、環境に配慮した物(冷房機器等)の使い方について理解している。 【発言、ノート】 		
	9(本時)	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した住まい方についてまとめ、解決策を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の問題点に合った解決策を考えられるよう、自分の生活の問題とこれまでの学習とのつながりが見える掲示やカードの工夫をする。 	関連付ける	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活から見いだした問題と、実験を通して明らかになった環境に配慮した住まい方の工夫を関連付けて、自分の生活における解決策を考えている。 【発言、ノート】 		
	課外	<ul style="list-style-type: none"> 計画を実践する。 					
夏 の自分の家庭生活を改善しよう	10	<ul style="list-style-type: none"> 実践の振り返りをし、計画を改善する。 題材の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の問題点に合った解決策を考えられるよう、実践をもとに計画を見直したりするよう促す。 題材の課題について自分の言葉でまとめ、振り返りをするよう促す。 	関連付ける	<ul style="list-style-type: none"> 夏における日常着の快適な着方や住まい方、環境に配慮した住まい方について、実践を評価したり、改善したりしている。 【発言、ノート】 夏における日常着の快適な着方や環境に配慮した住まい方についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。 【発言、観察】 		

5 本時の指導計画

(1) 目標 (活用する「考えるための技法」関連付ける)

自分の生活から見いだした問題と夏における環境に配慮した住まい方の工夫を関連付け、解決策を考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】

(2) 評価規準

おおむね満足	努力を要する児童への支援
自分の生活から見いだした問題と、実験を通して明らかになった環境に配慮した住まい方の工夫を関連付けて、自分の生活における解決策を考えている。 [思考・判断・表現]	自分の生活から見いだした問題を確認するよう促したり、板書を振り返るよう声がけしたりすることで、自分の家庭生活の問題点に合った夏の住まい方について考えることができるようにする。

(3) 展開

段階	主な学習活動・学習内容	教師の支援 (◇評価)	資料等
導入 3分	1 本時の課題を確認する。 夏に住まい方の工夫をまとめよう。	<ul style="list-style-type: none"> 本時の課題意識を一人一人がもつことができるよう、他のグループの結果を知りたいという子供の思いを全体で共有する。 	
展開 27分	2 前時の実験結果を交流する。 <ul style="list-style-type: none"> 通風 よしず、すだれ 風鈴 打ち水 3 エコな住まい方の工夫についてまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人ができるだけ実感を伴って他グループの実験結果を捉えることができるよう、実験の様子を必要に応じ ICT を活用して示すよう促し、結果を板書する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>手立て① 住まい方の工夫のよさを視覚的に捉えることができるよう、問題と実験方法、結果、そこから分かることのつながりが見えるように可視化する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 住まい方の工夫のよさを実感することができるよう、よさを問うたり、実験結果につながる資料を提示したりする。 エコな住まい方についての考えを広げることができるよう、交流して分かったエコな住まい方を自分でまとめるよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙板書(実験内容・結果) 子供用 PC 実験結果につながる資料
まとめ 15分	4 自分の解決策を考える。 <ul style="list-style-type: none"> 扇風機だけでは暑いから、窓を2か所開けて風の通り道を作る。 打ち水をして家の周りの温度を下げ、さらに風鈴の音で涼しさを感じられるようにする。 5 振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> 初めは、ただ窓を開ければよいと思っていたけれど、風の通り道を作るように開けることがよいと分かった。 初めは解決策を考えることができなかったけれど、実験したり皆の話を聞いたりして、窓を開けて風の通り道を作ったり、風鈴の音が涼しさを感じさせたりと、自分の家でできそうな工夫を考えることができた。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>手立て② 学習した住まい方の工夫をもとにさらによりよい解決策を考えたいと思いをもちことができるよう、初めに考えた解決策でよいか問う。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 実験結果をもとに解決策を考えられるよう、子供が考える際に板書や自分のワークシートを手掛かりとすることを促す。 <p>◇ 自分の生活から見いだした問題と、実験を通して明らかになった環境に配慮した住まい方を関連付けて、自分の生活における解決策を考えている。</p> <p style="text-align: center;">【思 発言・カード】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の学びを実感できるよう、初めに考えた解決策と本時考えた解決策を比較して振り返るよう促す。また、初めと比べて、より多くの解決策やその理由を書けるようになったことを記述している子供の振り返りの結果を取り上げ、全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙板書(実験内容・結果) ワークシート

